

平成 26 年度 日臨技、都道府県技師会主催
「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会

事後アンケート集計

都道府県 宮城県臨床検査技師会
 担当氏名 氏家 和明
 開催日 平成 26 年 10 月 25・26 日
 アンケート提出数 31名 回収率 100%

1	講習を受けてどうでしたか？	よかった 100% 31	よくなかった 0%	どちらでもない 0%
2	受講料はどうでしたか？	妥当 71% 22	高い 29% 9	安い 0%
3	ビデオ講義形式はどうでしたか？	よかった 39% 12	よくなかった 42% 13	わからない 19% 6
4	ロールプレイ体験はどうでしたか？	よかった 100% 31	よくなかった 0%	わからない 0%
	講習会の感想、意見、要望	<p>ビデオの音響効果が悪い 大変有意義、勉強になった 傾聴技術、RCPC 等の勉強会をもっと増やしてほしい 早速実現に向けて動いていきたい 予想以上にためになった 患者様への接遇の大切さやチーム医療への貢献の意義を認識できました。 実際の説明演習ができなかったことが残念です ビデオ講義は意味不明、接遇の基本もカードやロールプレイでごまかされた感じがする 多岐にわたった講義で参考になりモチベーションが上がった。 受講料が高いと思いましたが、受講してみて内容も豊富であり妥当かなと感じました ビデオ講義は眠くなります ロールプレイは何度も繰り返して行う必要がある 期待するものの講義はブラック企業的発想と思える内容があり不満、その他はよく理解できた 模擬演習でも、理想的な説明内容の配布もあればよかった ビデオが見にくくとても残念 検査データの読み方、患者接遇に関してこれから勉強しなければならないことがたくさんあると思いました ビデオは講習会用に作成すべき 講習時間が長った 検査部の向上のためすばらしい取り組みだと思います 講義が実践的で大変良い RCPC・検査説明の実際の症例がドック前提のものだったので、病院を前提としたものがあるとよかった。 検査説明ができるように道を整えていきたい</p>		

		多くのことを学ぶことができました 院内で共通の認識を持って行うことが必要、反面難しいことだと思います		
今後検査説明ができそうですか？ 未回答1名	できそう 10名	できない 1名	まだわからない 19名	
検査説明しうる分野(いくつでも可) 回答数	糖尿病外来 12	SMBG 7	健診全般 14	
	生理全般 7	検査の多い診療科の患者へ 7	検査の少ない診療科の患者へ 2	
検査説明のための課題は？	接遇をもっとしっかり学ぶ必要あり 説明できるスタッフの教育、スキル、コミュニケーション力の向上 マンパワーの問題 データの読み取り 診療科の了解 医師との話し合い 検査室の共通理解を得られるか どこまで説明するかルール作り 腫瘍マーカーの取り扱い 他職種との連携 ニーズがあるかどうか 検査室側からのアプローチも必要 院内での調整 認知症や独居の方への対応 わかりやすい言葉を使う マニュアル、ケーススタディー、場所の確保 カウンセリング技術の向上 院内の環境整備			